

ブリンクマン指数別、および TDS 点数別の指導終了 3 ヶ月後の状況を以下に示す。

ブリンクマン指数別にみると、指数が高い方が失敗の割合がやや高い傾向が見られた。また、TDS 点数別にみると、全体的に治療開始時の TDS 点数が低い方が禁煙に成功している傾向が見られた。TDS 点数 5 点の場合は 14.0%が禁煙に失敗、10 点の場合は 32.1%が禁煙失敗となっており、TDS 点数が高い患者は、終了時に禁煙に失敗している割合が高くなっていた。

図表 32 指導終了 3 ヶ月後の状況（ブリンクマン指数別）

	件数	禁煙継続	1週間禁煙	失敗	不明	無回答
合計	1190	701 58.9%	49 4.1%	257 21.6%	136 11.4%	47 3.9%
【ブリンクマン指数】						
200～500未満	259	146 56.4%	14 5.4%	50 19.3%	36 13.9%	13 5.0%
500～1000未満	479	294 61.4%	16 3.3%	101 21.1%	50 10.4%	18 3.8%
1000～1500未満	310	190 61.3%	14 4.5%	65 21.0%	34 11.0%	7 2.3%
1500以上	138	70 50.7%	5 3.6%	41 29.7%	13 9.4%	9 6.5%
無回答	4	1 25.0%	-	-	3 75.0%	-

図表 33 指導終了 3 ヶ月後の状況（TDS 点数別）

	合計	禁煙継続	1週間禁煙	失敗	不明	無回答
合計	1190	701 58.9%	49 4.1%	257 21.6%	136 11.4%	47 3.9%
【TDS点数】						
5点	93	66 71.0%	3 3.2%	13 14.0%	8 8.6%	3 3.2%
6点	146	98 67.1%	2 1.4%	31 21.2%	10 6.8%	5 3.4%
7点	217	131 60.4%	11 5.1%	40 18.4%	28 12.9%	7 3.2%
8点	274	152 55.5%	15 5.5%	57 20.8%	37 13.5%	13 4.7%
9点	291	171 58.8%	11 3.8%	65 22.3%	30 10.3%	14 4.8%
10点	140	66 47.1%	6 4.3%	45 32.1%	18 12.9%	5 3.6%
無回答	29	17 58.6%	1 3.4%	6 20.7%	5 17.2%	-

10) 算定回数別の指導終了3ヶ月後の状況

算定回数別の指導終了3ヶ月後の状況をみると、全体で31.7%が禁煙を継続していた。5回の指導を全て終了した患者の3ヶ月後の禁煙継続率は58.9%であった。

ニコチン依存症治療を中止した回数別にみると、1回目で治療を中止した患者や、2回目で治療を中止した患者では、「失敗」（それぞれ37.6%、33.1%）が「禁煙継続」（それぞれ14.5%、28.4%）を上回っていたが、3回目以降まで治療を実施した患者では「禁煙継続」の割合が多く、3回目で中止した患者では36.1%、4回目で中止した患者では48.8%、5回目終了した患者では58.9%が「禁煙継続」となっており、治療回数が多いほど禁煙継続の割合が高くなっている傾向が見られた。

図表 34 指導終了3ヶ月後の状況（算定回数別）

